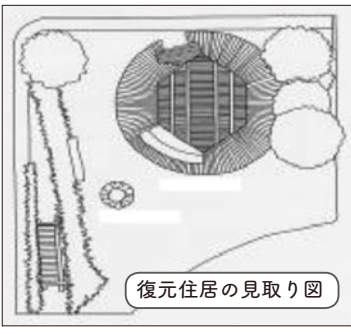


1 弥生時代の暮らしの展示から当時の暮らしの様子を想像してみよう。



復元住居やコーナーの中で見付けたり、住居内の家族の会話や周りのスクリーンに映し出された映像を聞いたりして分かったことを書こう。

※森へ木の実、川へは魚を採りに行き、鳥は弓矢で射落としていた。など、このころの人々の生活の様子ができるような内容が書かれていればよい。

2 縄文時代と弥生時代の展示物を調べて、二つの時代を比べよう。

縄文時代や弥生時代の人々の暮らしについて調べ、表にまとめよう。

	縄文時代	弥生時代
道具	石斧・石鏃などを使っていた。	・穂摘み具の石包丁が登場。 ・青銅器・鉄器などの金属器が登場。 ・米づくりに伴い、木製農具が発達。
土器	厚くてどっしりした感じ。縄目の模様が付いているものが多い。 食物を煮るための深鉢形が基本。	薄くて硬い感じ。模様のないものもある。 ふちがついている。 貯蔵用や煮沸用など、用途ごとに特定の器種が出現。
食べ物	※シカ・イノシシ・貝・クリ・ドングリ・山菜など狩りや漁・採集にたよっていたことをおさえるとよい。	※米・あわ・きび・クリ・ドングリ・キノコ・鳥・シカ・イノシシなどの狩りや漁・採集のほかに栽培活動（米づくり）も始まったことをおさえるとよい。
住まい	定住化が進んだ。ドングリなどの貯蔵穴もあった。	竪穴住居・かやぶきの屋根、柱は6本・真中には炉があり魚を焼いていた。魚などを干していた。水さらし場やドングリなどの貯蔵穴もあった。高床の倉庫もあった。
その他	※道具・土器・食べ物・住まい以外で見付けた、縄文時代のことが書かれていればよい。 (祭祀活動、装身具、漆工芸等)	※道具・土器・食べ物・住まい以外で見付けた、弥生時代のことが書かれていればよい。 (むらとむらの争い、大陸・半島との交流等)

※ワークシートの内容を見る時の留意点

3 二つの時代の様子を比べて、人々の生活や社会の様子について考えたことや思ったことを話し合おう。

調べてみて考えたことや思ったことを書きましょう。

※食べ物の収穫方法・道具や土器の変遷など、人々の暮らしや社会が変化していることに気付いている感想が書かれてあればよい。